

来場者の試食・投票 で最優秀レシピを決定するレシピコンテストや
創作アレンジメニューとドリンクをセットで提供するチャリティCAFEも！

『防災の日』の前日に 「缶詰・びん詰・レトルト食品フェスティバル2014」開催!!

日時:8月31日(日)11:00~16:30 ※雨天決行 / 会場:ベルサール秋葉原(1F HALL)

公益社団法人 日本缶詰びん詰レトルト食品協会

公益社団法人日本缶詰びん詰レトルト食品協会(東京都千代田区/会長:西秀訓)は、『防災の日』の前日となる8月31日(日)11:00~16:30、ベルサール秋葉原で、防災の日「缶詰・びん詰・レトルト食品フェスティバル2014」を開催します。

本フェスティバルは、「缶詰・びん詰・レトルト食品」が、食材として高い利便性・汎用性を有していること、さらに、保存性に優れることから災害時にも役立つ食品であることを、生活者の皆様に再認識いただくために開催する「1年に1度の大祭典」です。

メインイベントは『缶詰・びん詰・レトルト食品を使ったお弁当おかずレシピコンテスト』。一般公募で全国から集まったレシピ(214点)の中から、あらかじめ優秀作品に選ばれた4レシピについて、考案者(4名)が会場で調理デモを実施、来場者に審査員となっていただき試食(無料)・投票の上、最優秀レシピを決定します。

さらに、会場には“缶詰博士”として様々なメディアで活躍中の黒川勇人氏が登場。同氏の進行による「缶詰トークセッション」にて、最新の缶詰情報について雑学やうんちくを交えながら、缶詰・びん詰・レトルト食品メーカー担当者(協賛企業)とともに大いに語りあうステージイベントや、服部学園監修によりアレンジした、缶詰・びん詰・レトルト食品の創作オリジナルメニューを提供するチャリティCAFEも出展するなど盛りだくさんでお楽しみいただけます。

このほか、一般社団法人 防災安全協会による「災害食グランプリ2014」において『缶詰・びん詰類の部』他各部門で入賞した食品を展示紹介するほか、来場者が自らデザインを楽しめる「オリジナル缶ファクトリー」コーナー、日本ジャム工業組合によるジャムの試食コーナー、神田消防署の協力により地震を体験できるシミュレーターなどを設置した『防災の日』ならではのコーナーも予定しています。

つきましては、ご多用中とは存じますが、何卒本フェスティバルのご取材を賜りたく、ここにご案内方々お願い申し上げます。なお、ご取材予定につきまして、別紙のFAX送信書に必要事項をご記入のうえ、広報事務局宛にご返送くださいますようお願いいたします。



本件に関するお問合せは下記まで

「缶詰・びん詰・レトルト食品フェスティバル2014」広報事務局
担当:副島・森田 TEL.03-3583-6157 FAX.03-3583-6208

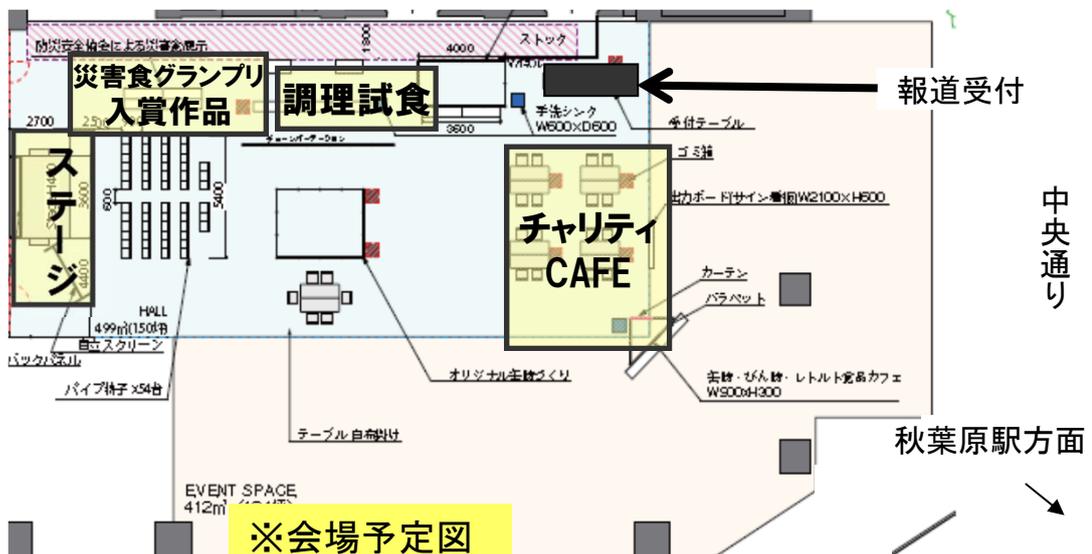
(ご掲載時の読者からの問い合わせ先:公益社団法人 日本缶詰びん詰レトルト食品協会 担当:藤崎 TEL.03-5256-4801)

防災の日「缶詰・びん詰・レトルト食品フェスティバル2014」開催概要

- 名称: 防災の日「缶詰・びん詰・レトルト食品フェスティバル 2014」
- 主催: 公益社団法人 日本缶詰びん詰レトルト食品協会
- 後援: 農林水産省、消防庁、東京都
- 協力: 学校法人服部学園服部栄養専門学校、サーモス株式会社、アサヒビール株式会社、アサヒ飲料株式会社、日本製缶協会、神田消防署、神田消防団、アイランド株式会社
- 協賛: 味の素株式会社、いなば食品株式会社、エム・シーシー食品株式会社、大塚食品株式会社、カゴメ株式会社、キューピー株式会社、株式会社極洋、国分株式会社、株式会社サンヨー堂、ストー缶詰株式会社、天狗缶詰株式会社、日興食品株式会社、日東アリマン株式会社、日東ベスト株式会社、日本水産株式会社、ハウス食品グループ本社株式会社、はごろもフーズ株式会社、八戸協和水産株式会社、株式会社宝幸、株式会社ホテイフーズコーポレーション、マルハニチロ株式会社、三菱食品株式会社、ヤマモリ株式会社(23社・50音順)
- 商品協賛: 岩手缶詰株式会社ほか
- 目的: ①缶詰、びん詰、レトルト食品の特性である即食・個食性、汎用性などの訴求を通じて日常食としての利用機会創出を図る。
②缶詰、びん詰、レトルト食品が保存性に優れ、非常食としても役立つことから、循環備蓄などを通じた日常的な常備の必要性についても啓発する。
- 日時: 8月31日(日)11:00~16:30
- 会場: ペルサール秋葉原(1F HALL)/千代田区外神田3-12-8 住友不動産秋葉原ビル
- 入場料: 無料



【交通】JR『秋葉原駅』(電気街口)～徒歩4分、つくばエクスプレス『秋葉原駅』(A3出口)～徒歩5分、東京メトロ日比谷線『秋葉原駅』(2番出口)～徒歩7分



開催内容

忙しい朝に大助かり♪「缶詰・びん詰・レトルト食品を使ったお弁当おかずレシピコンテスト」

缶詰・びん詰・レトルト食品を使ったお弁当おかずのアレンジレシピを事前に全国から募集いたしました。当日は、応募総数214点の中から優秀作品に選ばれた4点のレシピ考案者が会場で実際に調理し、それを一般来場者が試食(無料)～投票して最優秀レシピを決定する楽しいイベントです。



【ステージプログラム】特報・博士が解説！ 缶・びん・レトルト最新情報コーナー

ステージ

缶詰博士・黒川勇人氏が今年も登場！ステージ上で缶詰トークセッションを開催。食品メーカー(協賛企業)とともに「缶詰博士」ならではのうんちくの数々を披露します。



●くろかわはやと

昭和41年福島県生まれ。

缶詰に精通していることから“缶詰博士”と呼ばれ、新聞やテレビ、雑誌など様々なメディアで活躍中。「缶詰料理ショー」など食に関するイベントのほか「ものづくりトークショー」など日本のものづくり文化を紹介するイベントを毎月開催。企業や学校、各種団体での講演も行っている。

缶詰・びん詰・レトルト食品の限定アレンジメニューを提供する「チャリティCAFE」オープン！

服部学園の監修・協力のもと“缶詰・びん詰・レトルト食品、にアレンジを加えたこの日限りの創作オリジナルメニューとドリンクをセットにして来場者に提供するチャリティCAFEをオープン。その際、東日本大震災の義捐金※として100円(下限)の協力を呼びかけます。

【提供メニュー(予定)】

肉団子ミートソース掛け、牛丼キムチ、ツナ缶と夏野菜マヨネーズ和え、鯖水煮の胡麻風味 葱塩味、瓶詰めなめ茸のクリームチーズ掛け、焼き鮭といくら卸しの親子和え

※みちのく未来基金＝震災遺児の進学を支援する基金

協賛企業「生CM」コーナー

ステージ

食品メーカー(協賛企業)が来場者に対して、最新おすすめ缶詰に関して商品開発のコンセプトや知られざるエピソード、苦労話などをスクリーンを使いながらプレゼンテーションします。

【参加企業】

大塚食品株式会社、カゴメ株式会社、国分株式会社、ストー缶詰株式会社、はごろもフーズ株式会社、株式会社宝幸、株式会社ホテイフーズコーポレーション、マルハニチロ株式会社

※予定(50音順)

「災害食グランプリ2014」入賞の缶詰・びん詰の展示紹介

一般社団法人 防災安全協会が8/23-24に開催した「災害食グランプリ2014」の『缶詰・びん詰類の部』をはじめ6部門で入賞した災害食を展示紹介し、備蓄食としての有用性を訴求します。

オリジナル缶ファクトリーコーナー(日本製缶協会提供)

来場者が持ち込んだグッズを詰めて、自分で好きなようにデザインできるサービス「オリジナル缶ファクトリー」コーナーを設置します。

※参加無料



ジャムを使おう！試食とレシピ紹介コーナー(日本ジャム工業組合)

全国各地のジャムを紹介します。それらジャムを使ったレシピの紹介と試食を行います。

防災コーナー

神田消防署の協力により、地震シミュレーターや、消火器シミュレーターを設置。体験することで防災への認識・知識がアップします。また、救急車も展示します。

※参加無料



「公益社団法人 日本缶詰びん詰レトルト食品協会」概要

■名 称:公益社団法人 日本缶詰びん詰レトルト食品協会

■所 在 地 :東京都千代田区神田東松下町10-2 翔和神田ビル3F
(TEL.03-5256-4801 FAX.03-5256-4805)

■設 立:昭和2年3月

■役 割:日本缶詰びん詰レトルト食品協会は、「缶詰、びん詰、レトルト食品の安全性の確保と品質の向上を図るために、必要な事項についての研究・調査、技術開発、指導及び普及啓発を行い、もって国民の豊かな食生活の実現と国民経済の健全な発展に寄与すること」を目的として組織されている団体です。したがって、缶詰業界の指導的役割を果していると同時に、缶詰企業と行政当局や消費者を、それぞれにつなぐパイプの役割も、具体的な事業を通じて果しています。

■会 長:西秀訓(カゴメ株式会社 代表取締役会長)

■会 員 数 :会員(278社)・賛助会員(109社) 合計(387社・7月末現在)

誠に恐れ入りますが、必要事項をご記入頂き、8月28日(木)までに下記事務局宛にご送付くださいますよう、お願い申し上げます。

F A X 送 信 書

「缶詰・びん詰・レトルト食品フェスティバル2014」 広報事務局行き

FAX.03-3583-6208

「缶詰・びん詰・レトルト食品フェスティバル2014」

■日 時:2014年8月31日(日)11:00~16:30(10:45~受付開始)

■会 場:ベルサール秋葉原(1F HALL)

※当日の緊急連絡先:080-6843-4895(深沢)、080-6843-4990(柏木)

該当する方に「v」マークをお付けください

ご取材予定有り

ご取材予定無し

■媒体名 [_____]

■御社名 [_____]

■部署名 [_____]

■お名前 [_____ 他: _____ 名 _____]

■ご連絡先 [_____]

【留意事項】

ご取材の際は必ず報道受付(開催概要の頁参照)でお手続きの上、プレス証を着用してご取材下さい。